

< 随想 > — good loser —

夏はスポーツの季節である。今年の高校野球の宮城県大会では、決勝戦で仙台育英が敗れた。一昨年は優勝、昨年は準優勝したチームだ。敗戦後の須江監督から生徒への言葉が何とも素晴らしい。

「あなた達を支え育ててくれた人に対して、優勝した時とか勝った時じゃない、今日負けた時に連絡することが大事。勝ったときに勝ちましたという報告より、負けた時に感謝を伝えられる。それは、絶対に欠かしてはならない。」

「(負けた) 今日しか学べないことがあるから、明日になれば薄れちゃうことがあるから、(中略) その時にしか一生湧き出てこない気持ちや考えがあるから、今日という日を逃したらいけない。それが、敗者復活の第一歩だから。今日という日を無駄にしない。今日が大事なんだよ」

この言葉には、須江監督の生徒への思いが一杯詰まっているのではないか。

我々の生活においては、常にうまく行く時ばかりでない。日常生活においては、程度の差こそあれ、何か問題や課題は付き物だ。そういう時にどのように対応するかで、その人の真価を問われていると思う。考えさせられることが一杯ある。

日本銀行 岡山 和裕